

2019 年度 神奈川らくらく介護研修 募集要項

1 目的

介護・看護現場において腰痛などによる労働力の低下および離職などの課題を理解する一助として、「人の力のみで抱えあげない介護・看護」「自分にも受ける人にもやさしい介護」に関する考え方の普及、ならびに保健医療福祉現場の専門職を対象に実践的な「持ち上げない」「抱え上げない」介護・看護技術の習得を目指す。

2 日時

内 容			1 日目	2 日目
A	「生理学を根拠とした介護技術学」	第 1 回	7 月 31 日 (水)	8 月 7 日 (水)
		第 2 回	11 月 5 日 (火)	11 月 12 日 (火)
B	「北欧の持ち上げない移動・移乗技術」	第 1 回	9 月 4 日 (水)	9 月 18 日 (水)
		第 2 回	11 月 19 日 (火)	11 月 26 日 (火)
C	「人の動きについて学ぶキネステティックとは」	第 1 回	9 月 11 日 (水)	9 月 25 日 (水)
		第 2 回	12 月 3 日 (火)	12 月 17 日 (火)

(第 1 回、第 2 回は同じ内容)

3 受講対象者

A 「生理学を根拠とした介護技術学」

保健・福祉・医療に従事する専門職（資格の有無は問わない。広く受け入れるため、現在従事していなくても受講可とする）。

B 「北欧の持ち上げない移動・移乗技術」およびC 「人の動きについて学ぶキネステティックとは」

保健・福祉・医療に従事している専門職（資格の有無は問わない）。原則として2日間とも出席できる者。

4 募集人員

A 「生理学を根拠とした介護技術学」 各回 60 名

B 「北欧の持ち上げない移動・移乗技術」およびC 「人の動きについて学ぶキネステティックとは」 各回 35 名

5 会 場

神奈川県立保健福祉大学実践教育センター

6 内 容

A 「生理学を根拠とした介護技術学」

〈1 日目〉 9：45～10：30	オリエンテーション 県の高齢福祉施策について	当センター職員 県高齢福祉課職員
10：30～15：30 ※	「寝たきり防止、脱出の介助学」 1 動作じゃなく「行為」を引き出す介助法 2 ヒトの自発性とは何か～発達学に学ぶ～ 3 寝返りから起き上がり、寝たきり脱出法 4 床から立つ、床に坐る、和風の生活に不可欠な行為の自立法、介助法	生活とリハビリ研究所代表 三好 春樹 氏
〈2 日目〉 10：30～15：30 ※	「移乗行為」の自立法、介助法 1 ベッドから離れ、世界を広げるために 2 ヒトの動きはパワーよりバランス 3 機械浴ゼロのための介助法 4 脳卒中片マヒ者へのケア～固まった指の開き方、ブラブラの手のケアなど～	

※昼休憩 1 時間／午後 15 分休憩

B 「北欧の持ち上げない移動・移乗技術」

日 程	研 修 内 容	講 師
〈1日目〉 9：00～9：45	オリエンテーション 県の高齢福祉施策について	当センター職員 県高齢福祉課職員
9：45～16：30 ※	人の自然の動きを活用して、人の持つ力を利用した介護技術ペヤ・ハルヴォール・ルンデの思想と技術を学ぶ。 (実技あり) ・ベッド上での移動 ・ベッドから車椅子、ストレッチャーへの移乗 ・褥瘡予防の小枕の移動 ・褥瘡のある人のベッド上での移動他	移動・移乗技術研究会代表 元田園調布大学 教授 中山 幸代 氏
〈2日目〉 9：00～16：30 ※	それぞれの現場での移動移乗の困難事例を持ちより、学んだ技術をどう生かせるか検討する。(グループワーク)	

※午前 15 分休憩／昼休憩 1 時間／午後 15 分休憩

C 「人の動きについて学ぶキネステティックとは」

日 程	研 修 内 容	講 師
〈1日目〉 9：00～9：45	オリエンテーション 県の高齢福祉施策について	当センター職員 県高齢福祉課職員
9：45～16：30 ※	講義と演習を通して人の活動についてキネステティックの6つの概念を体験しながら学ぶ。 1 インタラクション (感覚・動きの要素・パターンについて) 2 機能から見た解剖 (動きにおける骨と筋肉の特性・マスとツナギ・オリエンテーションについて) 3 人の動き (パラレルな動きとスパイラルな動きについて)	元聖ヶ丘教育福祉専門学校 実習指導部長 小川 正子 氏
〈2日目〉 9：00～16：30 ※	4 力 (押し・引きについて) 5 人の機能 (7つの基本体位・その場の動きと移動について) 6 環境 (安楽な臥位・動きを促進する環境と抑制する環境について) 困っている事例について6つの概念を使って検討してみる。	

※午前 15 分休憩／昼休憩 1 時間／午後 15 分休憩

7 申込方法

郵送にて申込

「受講申込書」および返信用封筒 (長形 3 号の封筒に 82 円の切手を貼付し、返信先の住所を記載したもの) を以下送付先へ郵送してください。

受講申込書の「氏名」「所属名」「地域」「連絡先」(※「研修受講の所属の指示」) および「職種」は必須項目です。未記入の場合は選考に影響しますのでご注意ください。※は B および C の申込のみ

<送付先> 〒241-0815 横浜市旭区中尾 1-5-1

公立大学法人神奈川県立保健福祉大学実践教育センター 実践教育部 山田

※封筒の表に朱書きで「神奈川県らくらく介護研修申込書在中」とご記入ください。

8 申込期間（必着）

内 容	申込期間	受講決定
A「生理学を根拠とした介護技術学」（第1回）	5月15日（水）～5月21日（火）	6月下旬頃
B「北欧の持ち上げない移動・移乗技術」（第1回）	6月5日（水）～6月11日（火）	7月下旬頃
C「人の動きについて学ぶキネステティックとは」（第1回）	7月3日（水）～7月9日（火）	8月中旬頃
A「生理学を根拠とした介護技術学」（第2回）	8月21日（水）～8月27日（火）	10月上旬頃
B「北欧の持ち上げない移動・移乗技術」（第2回）	9月4日（水）～9月10日（火）	10月中旬頃
C「人の動きについて学ぶキネステティックとは」（第2回）	9月18日（水）～9月24日（火）	10月下旬頃

9 受講決定および結果通知

応募者多数の場合は書類審査により選考します。

A「生理学を根拠とした介護技術学」

- ① 神奈川県在勤または在住者を優先する。
- ② 同一所属からの複数申込者を調整する（原則2名まで）。
- ③ 必須項目記載漏れのない者を優先する。
- ④ 先着順。

B「北欧の持ち上げない移動・移乗技術」およびC「人の動きについて学ぶキネステティックとは」

- ① 神奈川県在勤または在住者を優先する。
- ② 所属から（所属指示）の申込を優先する。
- ③ 同一所属からの複数申込者を調整する。
- ④ 必須項目記載漏れのない者を優先する。
- ⑤ 先着順。

受講可否を応募者全員に通知します。

10 受講経費

各回各講座それぞれ 1,000円（税込）

※納入方法については受講決定通知でお知らせします。